

【2015/1/27-28 第1回清華・京進発展フォーラム 日本側ゲスト】

竹宮恵子氏

京都精華大学学長、漫画家



1950年徳島県生まれ。1968年、『週刊マーガレット』（集英社）の新人賞に佳作入選した「リンゴの罪」でデビュー。代表作『風と木の詩』『地球へ...』で小学館漫画賞受賞。両作品は共にアニメ化されている。

また、少女マンガだけでなく少年マンガや企業マンガなどさまざまなジャンルで活躍。

2000年に京都精華大学の教員となり、マンガ制作の技術指導に加え、カリキュラムや教材作成などマンガ教育の体制づくりに尽力。また、文章では理解しにくい情報をマンガで描く「機能マンガ」や、史料性の高い複製原画「原画」（げんがだっしゅ）の研究などを行っている。

2008年から4年間、マンガ学部長をつとめ、2014年から京都精華大学学長に就任。2014年秋の褒章で「紫綬褒章」を受賞。

櫻井孝昌氏

日本流行文化コンサルタント、プロデューサー、作家、デジタルハリウッド大学・大学院特任教授



1965年東京生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業後、出版社にて書籍編集に携わる。その後、数々のメディア、イベントで、プロデュース、ディレクションを展開。世界25カ国のべ130都市以上で講演や、各種イベント、ファッションショー等の文化外交活動を実施中。外務省アニメ文化外交に関する有識者会議委員、外務省ポップカルチャー（ファッション分野）における対外発信に関する有識者会議委員等の役職も歴任。

2009年度外務省が委嘱した「カワイイ大使」のプロデューサーもつとめる。アニメやファッション、音楽等 Japan Pop Culture を用いた文化外交のパイオニア的存在。世界各国の日本イベントにゲストとして招かれることも多い。中国での活動に関してはとくに熱心で、2010年1月～2014年12月までに

22回訪中、のべ41都市でさまざまな文化交流活動を実施している。『日本が好きすぎる中国人女子』『世界カワイイ革命』（PHP新書）『アニメ文化外交』（ちくま新書）ほか著書多数。新聞、Webマガジン等で各種連載中、ラジオパーソナリティの顔も。

千玄室 氏

茶道裏千家第 15 代家元

1923 年生まれ。哲学博士。文学博士。昭和 39 年千利休居士 15 代家元を継承。裏千家今日庵庵主として宗室を襲名。平成 14 年嫡男に家元を譲座し、千 玄室に改名。



「一腕盃からピースフルネスを」の理念を提唱し、国際的な視野で茶道文化の浸透と世界平和を願い、各国を歴訪。文化省社会教育審議会委員、中央教育審議会委員等の公職を歴任。

現在の主な役職にユネスコ親善大使、日本・国連親善大使(外務省)、大阪大学大学院客員教授、ハワイ大学教授、財団法人日本国際連合協会会長、社団法人日本馬術連盟会長。

文化功労者国家顕彰、文化勲章、フランス・レジオン・ドヌール勲章オフィシエ、UAE 連邦独立勲章第 1 級等受章。国内外で名誉市民、名誉博士号を多数受けている。

中西進 氏

京都芸術大学名誉教授



1929 年東京生まれ。東京大学大学院博士課程修了、文学博士。富山県高志の国(こしのくに)文学館館長。2014 年度文化勲章受章。富山県特別栄誉賞受賞。

在学中、久松潜一に学び、高木市之助、土居光知の学風を慕う。博士論文『万葉集の比較文学的研究』で 30 代に読売文学賞、日本学士院賞を受賞。以後、比較文学、日本文化の研究で知られ、『源氏物語と白楽天』で大佛次郎賞、『万葉と海彼』で和辻哲郎文化賞。「中西進の万葉こころ旅」100 回放送で奈良テレビ放送文化賞、奈良県観光 PR 大賞特別賞、「万葉みらい塾」で菊池寛賞、ほか京都新聞文化賞、アカデミア賞など受賞。

2004 年文化功労者、2005 年瑞宝重光章。学界では日本学術会議会員、

日本比較文学会会長、東アジア比較文化国際会議名誉会長(現在)、全国大学国語国文学会会長(現在)をつとめる他、筑波大学教授、国際日本文化研究センター教授、大阪女子大学学長、京都市立芸術大学学長、池坊短期大学学長などを歴任した。プリンストン大学、トロント大学、カレル大学、サンパウロ大学、在中国日本研究中心、高麗大学ほかの客員教授もつとめ、目下、中国の天津師範大学、復旦大学、鄭州大学、中国社会科学院の客座教授でもある。

著書に『日本の文化構造』『こころの日本文化史』などがあり、著書は『中西進日本文化をよむ』(全 6 巻)、『中西進万葉論集』(全 8 巻)、『中西進著作集』(全 36 巻)に多くがまとめられている。エッセイストとしても知られ、日本ペンクラブ副会長。2007 年以來、世界の宗教的和解を目指すインドの「ナーランダ大学」の復興・創設の賢人会議・理事会メンバー。社団法人日本学基金理事長。

濱本良一 氏
国際教養大学教授



1952 年生まれ。東京外国語大学外国語学部中国語科卒業。卒業後、1985 年より読売新聞ジャカルタ特派員、1987 年より同上海特派員、1988 年より同北京特派員、1993 年より同香港支局長、2001 年から 2004 年まで同中国総局長を歴任。2004 年から 2011 年まで読売新聞・調査研究本部主任研究員、論説委員として活躍、2007 年 1 月～5 月までアメリカカリフォルニア大学バークレー校ジャーナリズム大学院読売講座・非常勤講師を務め、2011 年 10 月に読売新聞を定年により退職。退職後は中国を中心としたアジアの国際政治を専門領域に、公立法人・国際教養大学の教授をつとめ現在に至る。

著書に『「経済大国」中国はなぜ強硬路線に転じたか』(ミネルヴァ書房、2012 年)、『習近平の強権政治で中国はどこへ向かうのか』(ミネルヴァ書房、2014 年)、共著『中台危機の構造』(勁草書房、1996 年)、『中国は何処に向かう?』(蒼蒼社、2001 年)、『グローバル化時代の中国』(日本国際問題研究所、2002 年)など多数。訳書『錢其琛回顧録』(東洋書院、2006 年)など。
